

ソニー生命調べ 現役中学生男女 300 人アンケート報告

イマドキの中学生は約 8 割が将来について考えている

世界的金融不安などの影響により、先行きが見えない状況が続いています。このような状況の中、ソニー生命は現役中学生男女 300 名を対象に「将来に関する意識調査」を実施いたしました。

その結果、現役中学生は自分たちの将来について不安を感じながらも、ビジョンを描き始めていることが分かりました。

◆調査結果の要約◆

POINT1 厳しい現実の中で生きていこうとしているイマドキの中学生

■ 「10 年後の将来に不安を感じる」 69.4% / 「将来について考えている」 77.6%

10 年後の将来について聞くと、69.4%が不安だと答えましたが、具体的な将来については 77.6%が考えたことがあると答えました。

POINT2 イマドキの中学生からみた大人って？

■ 「尊敬できる」 67.4%

いまの「大人」を「尊敬できる」と答えた人は、67.4%でした。

POINT3 イマドキの中学生は現実的？

■ 「大人になったら仕事がしたい」 79.3%

大人になってやりたいことは、「仕事をする」(79.3%)。次に「貯金をする」(66.0%)という回答になりました。

今回の調査から、現役中学生が実によく大人や社会を観察し、将来に不安を持ちつつもビジョンを描き始めていることが分かりました。しかし、彼らが接する大人は多くの場合が親か教師などで、限られた範囲で大人というものを見ているのではないのでしょうか。他にも様々な大人がいて、それぞれの立場で輝いているということを知れば、さらに将来への確かな目標になるでしょう。

ソニー生命が平成 24 年 1 月 6 日（金）ホームページ内にリリースした中学生向け Web コンテンツ「大オトナ展」は、大人の実態を分かりやすく学べる内容となっています。様々なライフイベントをモチーフとした展示を楽しみながら、「大人になるとはどういうことか」「自由の尊さと責任」「ライフプランニングの重要性」を考えるきっかけを持っていただきたいと思います。

ぜひ、当社ホームページをご覧ください。

サイト名称および URL

名称 : 「大オトナ展」

URL : <http://www.sonylife.co.jp/otona/> (当社ホームページからも閲覧できます)

対象 : 主に中学生

～『大オトナ展』イメージ～



人生の重要なライフイベントにまつわる巨大なオトナ像を見ながらリアルな大人の事情を学んでいく展示室です。ライフイベントごとに関連した問いかけがあり、質問に答えることによって、「どんなオトナになりたいか」を知ることができます。

次ページから、調査結果の詳細を解説いたします。

調査概要

○表題：将来に関する意識調査

○調査主体：ソニー生命保険株式会社 広報部

〒107-8585 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館

○調査方法：株式会社メディアインタラクティブが運営する

アンケート専門サイト「アイリサーチ」を用いた Web アンケート調査

○調査期間：2011年12月19日（月）～20日（火）

○調査対象：全国の現役中学生男女

○回答人数：300人

-男性 150人

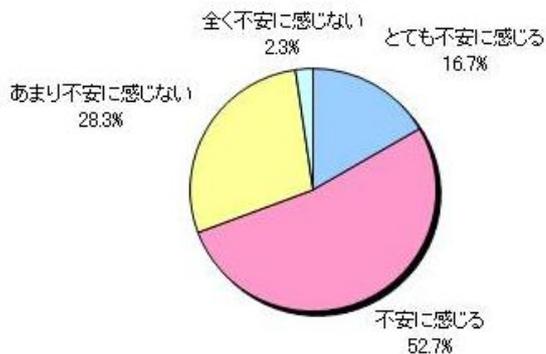
-女性 150人

<調査結果の詳細>

◆ イマドキの中学生は将来に不安を覚えながらも、10年後の自分を考えている。

「あなたは10年後の将来について不安を感じますか」という問いに「とても不安を感じる」（16.7%）、「不安を感じる」（52.7%）、あわせて69.4%が不安だと答えました。昨今の政治、経済、社会の様相を反映してか、多くの中学生が不安を覚えていることが分かります。

Q.あなたは10年後の将来について不安を感じますか(お答えは1つ)



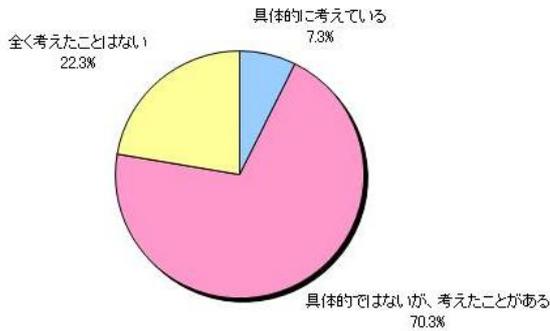
上記の問いで「不安」と答えた中学生に「あなたは何について不安を感じますか」と自由回答方式で聞いてみました。主な回答として「ちゃんと仕事があるかどうか」（中1・女子・秋田県）、「就職できているか」（中3・男子・東京都）、「正社員になれるかどうか」（中2・男子・愛知県）、「生活できるのか不安」（中2・男子・東京都）といった仕事と生活に関する不安が多く見受けられました。長引く不況の現状をよく観察していると考えられます。

また注目すべき回答として、「年金を含めた社会保障制度の崩壊」（中1・女子・神奈川県）、「少子化により負担が重くなる」（中3・男子・東京都）、「原発問題が心配。日本に希望が持てない」（中1・女子・東京都）「地球環境などはもちろんですが日本の国自体に不安を感じる」（中1・女子・宮城県）、「国の政治が悪いので景気の悪さは改善されず、出産率も下がる一方。不安に感じない訳がない」（中3・男子・三重県）などというものもありました。

中学生ながら真剣に将来を心配している様子がうかがえます。

「あなたは自分の10年後の将来を具体的に考えていますか」という問いには「具体的に考えている」(7.3%)「具体的ではないが、考えたことがある」(70.3%)、あわせて77.6%が考えていると答えました。中学生たちは不安を覚えつつも、将来を見据えているようです。

Q. あなたは自分の10年後の将来を具体的に考えていますか。(お答えは1つ)

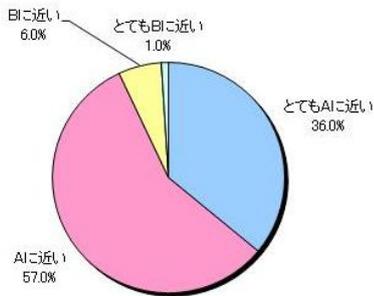


◆ イマドキの中学生は大人をネガティブに見ているが、それでも「尊敬できる」と思っている！

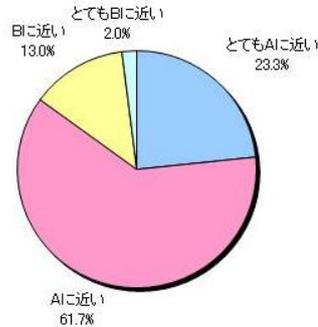
中学生たちは周囲の大人を具体的にどう見ているのでしょうか。中学生から見た大人は、大変そうで、疲れていて、楽しくなさそうで、厳しくて、半分は暗い。でも尊敬できる、という結果となりました。思春期の敏感な感性がとらえる大人の印象は、大人自身が考えるよりも、真実を語っているのかもしれませんが。

Q. いまの「大人」に対するイメージを教えてください。(お答えはそれぞれ1つ)

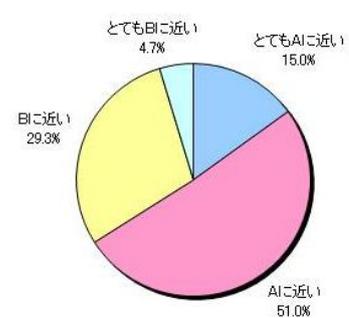
1. 【A:大変そう/B:楽そう】



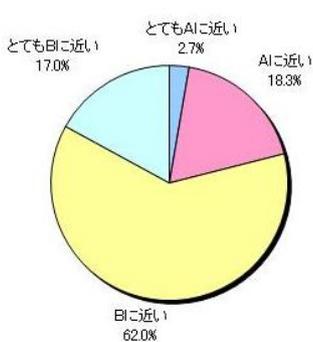
2. 【A:疲れている/B:元気】



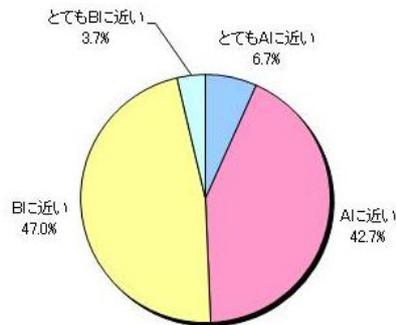
3. 【A:楽しくなさそう/B:楽しそう】



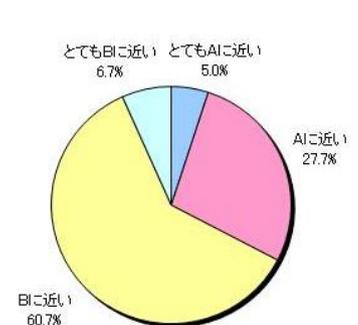
4. 【A:甘い/B:厳しい】



5. 【A:暗い/B:明るい】



6. 【A:尊敬できない/B:尊敬できる】



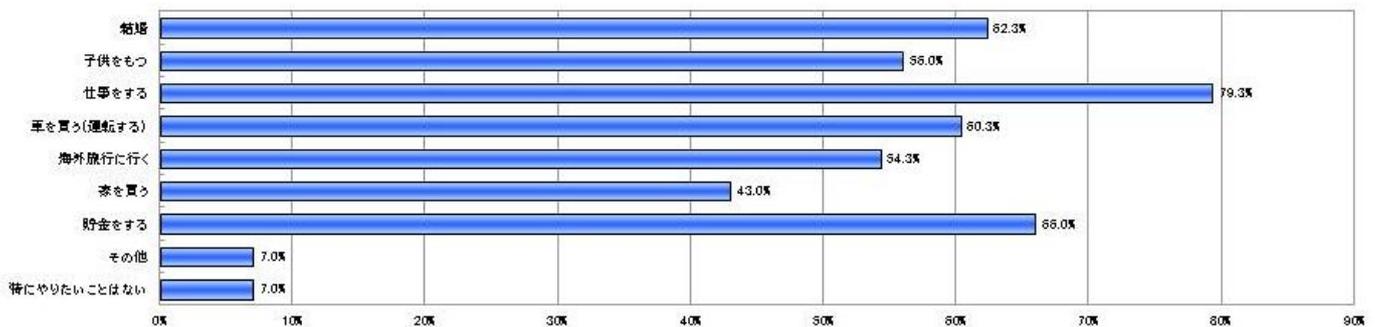
◆ イマドキの中学生は超現実的！ 大人になって最もやりたいことは「仕事」が独走、「結婚」が追う。

そのようにネガティブな印象を持ちながらも尊敬している大人に自分がなったとき、中学生たちは何をやりたいと思っているのでしょうか。

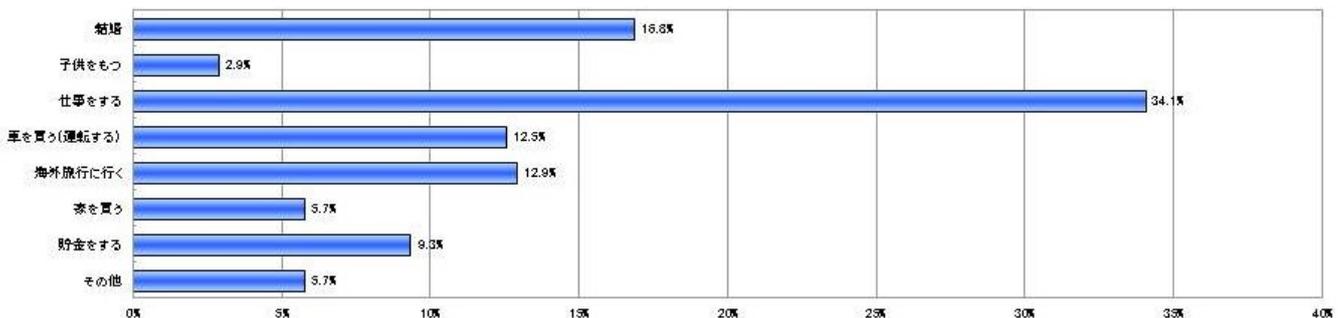
中学生が将来やりたいと思っていることと、その理由を調査したところ、「仕事をする」(79.3%)以下、「貯金をする」(66.0%)、「結婚」(62.3%)、「車を買う」(60.3%)などが拮抗しました。

ところが単一選択になると「仕事をする」(34.1%)が圧倒的に多く、次に「結婚」(16.8%)、あとは車や旅行などレジャーが続き、「貯金」の優先順位は低くなります。いずれにしても「仕事」と「結婚」という現実的な選択が現役中学生を象徴しているのではないのでしょうか。

Q. あなたが大人になってやりたいことをいくつか教えてください。(お答えはいくつでも)

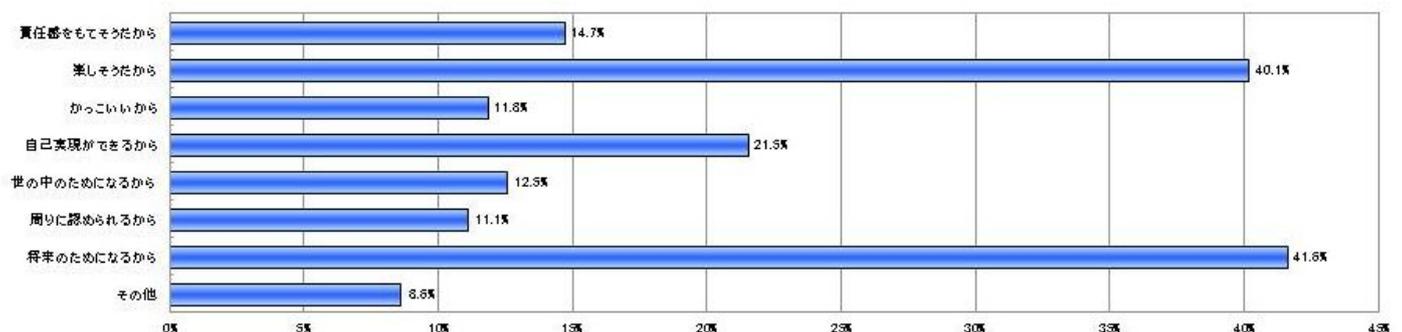


Q. また、その中で最もやりたいことを教えてください。(お答えは1つ)

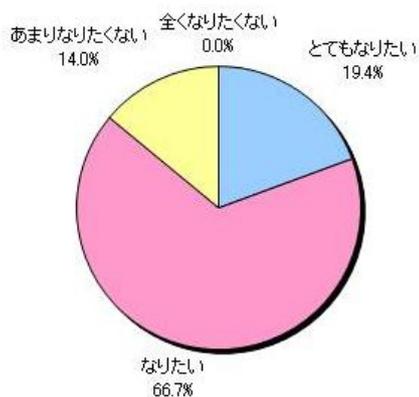


また、大人になってやりたいことの原因を聞いたところ、「将来のためになるから」(41.6%)、「楽しそうだから」(40.1%)が大勢を占め、やりたいことができるなら大人に「とてもなりたい」(19.4%)、「なりたい」(66.7%)、あわせて86.1%と肯定的な回答となりました。

Q. 前問でお答えいただいた「最もやりたいこと」で選択したものを選んだ理由を教えてください。(お答えはいくつでも) また、その中で最もやりたいことを教えてください。(お答えは1つ)



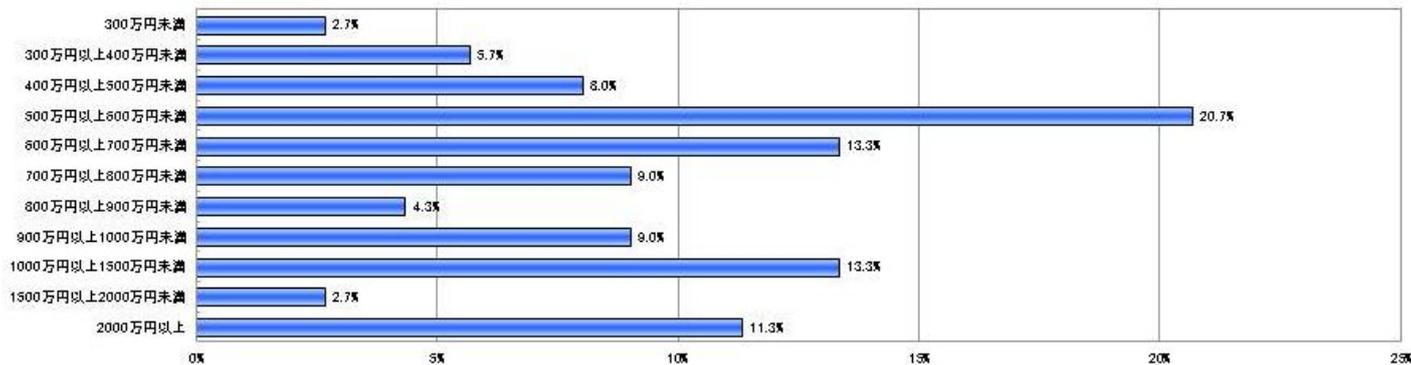
Q. 前問でお答えいただいた「最もやりたいこと」で選択したことが大人になったらできるとしたら、あなたは「大人」になりたいですか。（お答えは1つ）



最後に、中学生たちに大人になったら目指したい年収を聞いてみました。「年収 500 万円以上 600 万円未満」(20.7%) が一番多く、1000 万円以上という回答も多く見られました。

現実をしっかり把握しながらも、中学生らしい将来への希望を持っていることがうかがわれます。

Q. あなたが将来めざしたい年収を教えてください。（お答えは1つ）



以上